

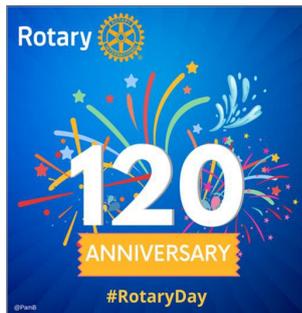
Rotary International 2024-2025 会長 ステファニーA.アーチック (アメリカ)	丸亀東ロータリークラブ 会長 前山 佳裕 幹事 塩田 寿
 (テーマ) The Magic of Rotary ロータリーのマジック	国際ロータリー第2670地区 ガバナー 夏見 良宏 (丸亀RC) 「インパクトをもたらそう 青少年に夢を」

2025年 2月25日(火)

2024-2025年度 第50年度 第31回 通算第2362回例会

【プログラム】 **RI創立(120周年)記念夜間例会** (会長・幹事・親睦活動委員会)

【弁慶 午後7時〜】



ありがとう！

ロータリーのリーダーであり
平和の創始者。

私たちはあなたとロータリー
の世界への120年間の奉仕を
祝います。

世界中で、そして私たちのコミュニティで持続的な変化を生み出すために行動を起こすために
団結した友人、リーダー、問題解決者の一員であることに対して。

私たちはあなたをととても誇りに思っています！

2月23日は世界理解と平和の日でもあり、ロータリーの120周年を祝うにあたり、改めて感謝
申し上げます。ロータリアンおよび平和構築者としての私たちの素晴らしい功績を共に振り返
るには絶好の機会です。ロータリーと、皆さんの地域や世界中で平和と変化を生み出すための
たゆまぬ努力を祝いましょう。



【来訪ロータリアン】（2名）*2月25日(火)オークラホテル丸亀にてご記名された方々です。

Ⓞ 長瀬裕亮様（高松RC）

Ⓞ 岡崎巧様（観音寺RC）

【メイクアップ】（なし）

【出席報告】 第2362回例会 <2月25日(火)RI創立記念夜間例会分>

会員総数	出席免除会員数	出席計算会員数	出席会員数	欠席会員数	出席率
41名	1名	40名	22名	18名	55.00%

第2360回例会

<2月4日(火)例会分>

会員総数	出席免除会員数	出席計算会員数	出席会員数	欠席会員数	出席率
41名	1名	40名	24名	16名	60.00%

【3月4日(火)例会】客話（田中誠直前会長）

〔丸亀お城村 実行委員長 川崎明則様〕



3月5日(水)午後6時～ 創立50周年記念祝賀会の試食会



【3月11日(火)例会】会計報告（神原太一会計）

四つのテスト ～言行はこれに照らしてから～

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。

具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 第1. 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第2. 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 第3. ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を实践すること。
- 第4. 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

MARUGAME EAST ROTARY CLUB

例会場 オークラホテル丸亀 ☎23-2222
〒763-0011 丸亀市富士見町3丁目3番50号

事務所 オークラホテル丸亀430号室

TEL(0877)21-6611 ; FAX(0877)21-6655
E-mail ; merc@soleil.ocn.ne.jp

例会日 毎週火曜日 PM12:30～PM1:30

<http://www.marugame-east-rc.com>

マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴRI会長メッセージ

効果的で説得力のある方法でロータリーのストーリーを伝えるためにできる最も重要なことの一つは、私たち全員が一貫性のある統一されたメッセージを確実に使用できるようにすることです。ロータリーの行動計画に沿い、一緒に活動することを呼びかける

2025-26年度会長メッセージ「よいことのために手を取りあおう」を活用し、会員、参加者、一般の人びとにインスピレーションを与えましょう。

クラブと地区のコミュニケーションに会長メッセージを組み込むことで、ロータリーの世界的なインパクトを伝えるだけでなく、地域社会や奉仕パートナー候補者の中でのロータリーの知名度が向上します。また、ロータリーがどのような団体でどのような活動をしているのかについて人びとの理解が深まるほか、入会への関心も高まるでしょう。



2025年国際協議会が2025年2月9日～13日の間、米国フロリダ州オーランドにて開催されました。

国際ロータリーのマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ会長エレクトは2月10日 米国フロリダ州オーランドで開かれたロータリー国際協議会で「地球上で最も有能なボランティアのチーム」を拡大する計画の概要を示し成長、奉仕、つながりを大切にして「よいことのために手を取りあおう」と会員に呼びかけました。

「ロータリーの最大の財産は、その歴史でも、プロジェクトでも、比類のない世界的広がりでもありません。それは会員です」こう述べたデ・カマルゴ氏は、ロータリーのパートナー団体がロータリー会員の「並外れた献身」を称賛したことに触れ、次のように続けました。「外部団体からそう認められたことで、ロータリーが世界に与えることのできる最大の贈り物は、その会員であるという私の理解が深まりました」

サンパウロ(ブラジル)のサントアンドレ・ロータリークラブに所属するデ・カマルゴ氏は、新たな視点を模索し、世界の地域社会でのロータリーの奉仕を強化することの重要性を強調しました。その上で、成長のための「不可欠な3つの柱」として革新、継続性、パートナーシップを挙げました。

革新しながらも一貫した伝統を築く

世界がいかに急速に変化しているかを指摘したデ・カマルゴ氏は、革新を呼びかけました。

「テクノロジー、社会の期待、経済状況は常に変化しており、ロータリーもそれに合わせて進化しなければなりません。……革新こそが、変化するこの世界に私たちが適応する手段なのです」これを実現する重要な方法の一つはさまざまなクラブモデルを採用し、推進することだと、デ・カマルゴ氏は言います。衛星クラブ、分野特化別クラブ、法人クラブ、パスポートクラブなどさまざまな方法でロータリーを体験することができます。

自身の妻が50人近くの会員を擁する衛星クラブの設立に助力したことに触れ「将来のロータリー会員はどこにでもあります。私たちは、そこに赴いて彼らを見つける必要があります」と語りました。

また、リーダーシップの継続性の重要性を強調しました。過去18カ月間に多くの場所を視察してその必要性を目の当たりにしたデ・カマルゴ氏は、ガバナーが前任者の取り組みを土台とし、プログラムや戦略を中断することなく継続させることが地区の発展につながると話しました。

ナイジェリアでの井戸建設、大洪水の被災者を支援するパキスタンでの取り組み、子どもたちの命を救う医療を提供するインドでのロータリー補助金プログラムを挙げたデ・カマルゴ氏は、次のように述べました。

「継続性とは、画一性ではなく、連携です。地区リーダー同士の連携し、自分の”ガバナー年度”を越えてロータリーを思い描けば、長期的な成功の土台が築かれます」

パートナーシップの力

デ・カマルゴ氏は、ロータリー会員は単独でも大きな成果をあげられるが、仲間と協力すれば世界を変えることさえ可能だと述べました。その上で ポリオ根絶に向けたロータリーの歴史的な取り組みは、ゲイツ財団、世界保健機関 UNICEF(国連児童基金)などのパートナーと連携して行われてきたことを指摘。これらのパートナー団体がなかったら、ロータリーが同様のインパクトをもたらすことはできなかっただろう、と述べました。さらに入会への関心を高めクラブを活性化させるために、さまざまな形でのパートナーシップを模索するよう提案しました。

事業者団体、専門職団体、学術機関などと協力することでロータリーは職業や考え方の多様性を取り入れながら新会員を増やすことができる、とデ・カマルゴ氏「奉仕と参画というロータリーの価値観を共有する職業人に働きかけることで、世界でよいことをするロータリーの力を拡大できます」

ロータリーのすべての功績と成長は、究極的に会員にかかっている、と述べたデ・カマルゴ氏は、会員の入会促進と維持に力を入れることで、今後も長年にわたって地域社会に変化を生み出すロータリーの強さと力が高まると語りました。

「分断されがちな世界において、ロータリーは団結と希望の光となります。私たちのプロジェクトは、人種、ジェンダー、性別、思想、経済的背景の異なる人びとを結びつけ、世界でよいことをするという共通の目的で私たちを一つにします。……よいことのために手を取りあえるロータリーを築き、すべての人にとってより明るい未来を実現させましょう」